

## 服部病院 外来診療担当医表

診療科	診察受付時間	月	火	水	木	金	土	
内科	9:00~12:00	一診	栗野孝次郎	長尾 学	西 慎一	那須正道	西 慎一	渡邊有史(第2-4) 城間京香(第1-3-5)
		二診	小坂理恵子	那須正道	内山 奏	栗野孝次郎	小坂理恵子	上田智朗(第1-5) 菅真紀子(第3)
		三診 (脳外診察室)		武田涼輔 (脳神経内科)			的場 俊 (脳神経内科)	
	13:00~17:00(予約)		那須正道 (糖尿病専門外来) 小坂理恵子 (SAS外来)	関田憲一 (腎臓内科)	吉田信治			
18:00~20:00		小坂理恵子		那須正道		栗野孝次郎		
外科	9:00~12:00		服部哲也	服部哲也	三方彰喜	服部哲也	三方彰喜	金澤成雄
	13:30~17:00					金澤成雄 (下肢静脈瘤専門外来)		
	18:00~20:00	(神戸大学)	服部哲也	三方彰喜	服部哲也	服部哲也		
整形外科	9:00~12:00	新患・リハビリ	楠 巖	楠 巖(第1) 斯波卓哉 (第2-3-4-5)	松宮 豊	斯波卓哉	楠 巖	生田健明
				楠 巖	松宮 豊 斯波卓哉 (~10:00)	楠 巖	斯波卓哉	斯波卓哉 (予約・リハビリ)
	18:00~20:00			楠 巖		斯波卓哉	藤原周一	
脳神経外科	9:00~12:00						山西俊介	
泌尿器科	9:00~12:00		樋口彰宏					
婦人科	9:30~12:00		服部奈緒	服部奈緒		服部奈緒	服部奈緒	服部奈緒
	14:00~(予約)		服部奈緒			服部奈緒	服部奈緒	

★担当医は変更になることがありますのでご了承ください。

★変更になる場合は、各科診察室前に掲示してありますのでご注意ください。

(令和6年1月現在)

## おいしいお店紹介

## うちごはんCafeそらまめ

住所：三木市宿原1263-199

定休日：日曜、月曜

営業時間：11:00~15:00(L.O.14:00)

TEL：0794-60-9300



## 関連施設

## 三郎記念クリニック

■ 診療科目：人工透析・腎臓内科

透析医療専門のクリニックです。経験豊富なスタッフがきめ細やかなサービスを提供します。

〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家1350-1  
駐車場完備

TEL 079-423-2055 FAX 079-423-1256

## 服部病院 診療科目

内科・腎臓内科・消化器内科・糖尿病内科・循環器内科・脳神経内科・脳神経外科・  
外科・心臓血管外科・整形外科・婦人科・泌尿器科・リハビリテーション科・  
放射線科・人工透析(夜間透析あり)・麻酔科、24時間救急受入体制

医療法人社団 一陽会 服部病院

〒673-0413 兵庫県三木市大塚 218-3

TEL 0794-82-2550 FAX 0794-82-4399

ホームページ

服部病院 |

検索

https://www.hattori-hospital.com

(当誌は、ホームページでもご覧になれます。)

## 服部病院だより

—地域医療連携室便り—

新年号

2024年(令和6年)1月

地域医療連携室

0794-83-5327(直通)

## [基本理念]

私たちは、利用していただける方々に最善の医療を尽くすことに努めます。

## [基本方針]

1. 地域住民の方との繋がりを大切にします。
2. 患者さんの人格を尊重しつつ、チームで安心・安全な医療の提供に努めます。
3. 予防・医療・介護との継続、かつ、透析医療においてリードする病院をめざします。
4. 医療の専門職として、継続学習と人間性豊かな医療人の育成に努めます。
5. 職員が自主・自律の精神のもと、働きがいのある職場環境をつくりまします。

## 新春のごあいさつ～働きやすい職場づくり～



新年あけましておめでとうございます。

昨年、5月に新型コロナウイルス感染症が2類から5類に変更となり、その後、8月に第9波の感染拡大があるものの、秋口からは感染者が減少し、今年は、医療従事者にとっては、3年ぶりに落ち着いた新年を迎えることができている。

さて、みなさんは、「心理的安全性」という言葉を御存じでしょうか。

組織行動学やリーダーシップの専門家であるハーバード大学のエイミー・エドモンドソン教授は、心理的安全性を「このチーム内では、対人関係上のリスクをとったとしても安心できるという共通の思い」と定義しています。

分かりやすく言えば「メンバー同士でどのような発言をしても、メンバーから嫌われたり、関係が壊れたりすることがなく、安心して自分の意見や考えを言える状態のこと」となります。

例えばチームで発言したときに、「そんなことも知らないのか」「そんな簡単なこともできないのか」「ミーティングが進まない」「後ろ向きな発言ばかりでやる気がなくなる」などと他のメンバーに思われぬ不安になることは、心理的安全性が低い環境になります。

Google(グーグル)が「チームを効率的にしているのは何か?」を2008年以降、毎年、徹底的に調査した結果、「心理的安全性が高いチームのメンバーはGoogleからの離職率が低く、他のチームメンバーが発案した多様なアイデアをうまく利用することができ、チームとしての生産性が高い」ということが実証されたことにより、近年、国内外で注目されるようになりました。

一見、チームマネジメントとしては、当たり前のことのように思われますが、医療現場では、医療安全の確保のために非常に重要視されています。

職員が患者さんの状態について何か異変を感じたとしても、チームの中の対人関係のリスクを不安に思うために沈黙してしまうことで、重大な医療事故を招く可能性があるからです。

心理的安全性が担保された環境は、人材確保のためにも有効です。人口減少が加速している現在の日本では、あらゆる分野で人材確保が困難な現状で、職員の退職は、頭の痛い問題です。みなさんの職場でも、せっかく採用した職員が次々と辞めてしまいチームとして機能していない部署はないでしょうか。職員が退職する理由の多くが人間関係です。チームの心理的安全性を確保することが、健全な組織の第一歩で、それが引いては患者さんにも信頼される病院経営につながります。

当院は、今年も地域の皆様に身近な病院、地域の皆様の健康を支える病院として日々の診療に取り組んで参ります。どうぞよろしくお願いたします。



病院長 服部 哲也

今年も「たつ」は、空から  
見守っていてくれるでしょう。  
一人ひとり「たつ」のように  
見守ってくれる人はあると思います。



「たつ」は、なんのかわかりませんが、し、一年中お天気のようにすをみていたのは「たつ」  
なのです。  
というお話です。

今年の干支は「たつ」です。十二支のお料理と  
いう絵本があるのですがご存じでしょうか。  
お正月料理を皆が楽しく食べることができると  
う十二支の動物たちが、かかりを決めて楽し  
ながら準備を進めていきます。

あけましておめでとうございます。



今年もどうぞよろしくお願いします。  
看護部長 岡脇 睦子

## 地域医療連携室

新年、あけましておめでとうございます。

当院は、ケアミックス型の診療体制をとっています。そのためには、地域の各医療機関との連携を円滑に進め、当院を利用していただける方々がより良い医療を継続して受けられるようにきめ細やかな患者支援を目指し、地域の医療機関と緊密な連携をとってまいります。

本年2月からは、一病棟(48床)を全て地域包括ケア病床に移行し急性期医療からリハビリ・介護支援に取り組み、早期に在宅、あるいは地域の施設やショートステイなど切れ目のない継続的な支援により「その人らしい暮らし」の再構築に向けて努めています。

地域医療連携室副部長 木曾田恵子  
室長 山下きみ子

## MRI・CT検査予約の簡素化にむけて

服部病院では、地域住民の方がいつまでも安心して暮らし続けることができる社会を医療の分野で支えていこうと考えています。三木市も高齢化が進み地域医療の充実は重要な要素の一つです。

そこで当院では、国も推進している医療機器の地域共同利用にしっかり取り組んでいきます。MRI・CT等医療機器を近隣医療機関にできるだけ使用していただくために予約の取り方を簡素化し、まるで自院で検査予約をしているような感覚でオーダーしていただけるよう**当院の放射線室予約専用回線に直接お電話をしていただき、その場で予約確定できるようにしております。**



放射線室長

連絡先： ☎ 070-5050-5102

## 透析センターがリニューアルしました!

新年あけましておめでとうございます。本年も服部病院透析センターをよろしくお願いいたします。この度、透析患者様により良い治療環境を提供することを目的に透析センターの改修工事を行いました。

- ・第一透析室は、照明・空調・ロールスクリーンを更新しクロスの張替えを行いました。
  - ・第二透析室は、幅の拡張と照明の更新を行いました。かなりすっきりと明るく広々とした感じに仕上がりました。
- また、ベッド・マットレス、テレビも全て新品に取り換え、両透析室ともにリニューアルしました。特に、第二透析室はこれまでとは見違えるような治療環境になりましたので、是非、お立ちよりください。

(^▽^) 透析室長 小西 修二



最新のマットレスを導入し清拭のみでOK

センターの通路を拡張し移動がスムーズ



4Kテレビを設置

## 回復期リハビリテーションの実績

リハビリテーション実績指数とは、機能的自立度評価表(FIM)の改善度を患者の入棟時の状態および在院日数をもとに数値化したものです。厚生労働省の基準では、実績指数が「27」以上であれば一定の基準以上のリハビリテーションが提供されていると判断されます。当院が取得している「回復期リハビリテーション病棟入院料1」では2020年度診療報酬改定で実績指数「40以上」が施設基準要件となりました。

今後も、質の高いリハビリテーションを提供するとともに患者様の日常生活動作向上に向けて邁進していきます。

R5年 回復期リハビリテーション病棟1 実績  
回復期リハビリテーションを要する状態の区分別内訳 (退棟数、実績指数)

	R4 10月 (7~9月)	R5 1月 (10~12月)	R5 4月 (1~3月)	R5 7月 (4~6月)	R5 10月 (7~9月)
総退棟患者数	32人	41人	32人	33人	44人
脳血管疾患	15人	16人	9人	16人	14人
整形疾患	12人	17人	16人	14人	20人
廃用症候群	1人	5人	5人	2人	3人
神経筋帯損傷	1人	0人	0人	0人	0人
人工関節置換術	3人	3人	2人	1人	7人
実績指数※	40.9	58.2	62.7	49.3	49.1



※実績指数「入院から退院に至るまでの間にどれだけADLが改善したか」という点と「在院日数が何日なのか」という点に着目し、これらを規定の式に入れることで算出されます。

医療法人社団一陽会  
服部病院